

2024年1月24日
オカモト株式会社

クリニックフォア×オカモト 性交における不安・心配に関する実態を調査

性交時に不安や心配を感じたことがある女性は約8割
特に“避妊”“におい”に不安・心配を感じていることが判明
～約9割が性交痛を感じたことがある一方で、3割以上が「対処したことはない」ことが明らかに～

 CLINIC FOR ×  New Basic 身近な暮らしを科学する
オカモト株式会社

性交における 不安・心配に関する 実態調査



アフターピルのOTC化や梅毒をはじめとした性感染症の罹患率増加など、避妊や性感染症についてはニュースでもたびたび取り上げられるようになりました。一方で、日本ではまだまだ性にまつわる話題はタブー視される傾向があり、パートナー同士で性に関する話題を共有できず、ひとりで悩みを抱えている人も多いことが想定されます。そこで今回クリニックフォアとオカモトは、性交の経験がある女性を対象に、性交においてどのような不安や心配を抱えているのか、またそれに対する対処やパートナーとのコミュニケーションについての実態を明らかにする目的で本調査を実施しました。

【調査概要】

調査対象：性交経験があり、低用量ピルの利用経験があるクリニックフォアの利用者(女性)482名
調査期間：2023年9月14日～2023年9月19日

※調査結果をご紹介いただく際は、「クリニックフォア/オカモト調べ」と注釈をご記載ください。

※構成比の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は100%とならない場合があります。

【調査サマリー】

1) 性交における不安・心配について

- 約8割(77.6%)の女性が「性交時に不安や心配を感じたことがある」と回答。特に、“避妊”“におい”“性交痛”に対する不安・心配が理由の上位に。
- 8割以上(83.8%)の女性が「パートナーに不安や心配を伝えられなかったことがある」。パートナー以外には「女性の友人(40.1%)」「婦人科などの医療機関(27.3%)」に相談している一方で、「誰にも相談できない」と回答した人も3割弱(28.3%)

2) 性交時に感じる「性交痛」について

- 性交痛を感じたことがある女性は約9割(85.5%)。理由は「前戯が不十分(49.8%)」がトップ、次いで「十分に興奮できていない(36.2%)」と、性的な興奮が高まらないことによる潤い不足に原因を感じている女性が多い結果に。
- 性交痛を伝えられなかった経験がある女性は約8割(75.5%)。理由は「雰囲気壊したくないから(53.4%)」「相手を傷つけてしまいそうだから(39.7%)」。そもそも「相手に知ってほしいと思わない」という回答も32.8%
- 性交痛に対して「対処したことはない」と回答した人が3割以上(33.3%)。対処をしない理由として「自分が我慢すればよいものだから(39.4%)」がトップに挙がる結果に。

【調査結果詳細】

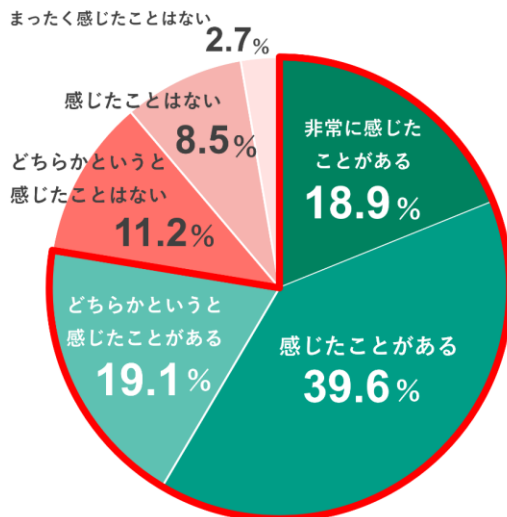
1) 性交における不安・心配について

●約 8 割（77.6%）の女性が「性交時に不安や心配を感じたことがある」と回答。特に、“避妊”“におい”“性交痛”に対する不安・心配が理由の上位に。

性交経験のある女性の約 8 割（77.6%）が「性交時に不安や心配を感じたことがある」と回答。理由としては「避妊をしたが妊娠していないか不安（59.4%）」が最も多く挙がり、次いで「汗や性器などのにおい（44.1%）」、「挿入時・挿入後の痛み（43.9%）」が続いています。

Q. 性交の際に、不安や心配を感じたことはありますか？

n=482/SA



性交時に不安・心配を感じたことがある人
77.6%

CLINIC FOR × 万力モト株式会社

Q. 何に対して不安や心配を感じたのか教えてください。

n=374/MA

- 1位 避妊をしたが、妊娠していないか不安 **59.4%**
- 2位 汗や性器などのにおい **44.1%**
- 3位 挿入時・挿入後の痛み **43.9%**
- 4位 性感染症に感染しないか不安 **43.6%**
- 5位 体型や体毛などの見た目 **41.2%**
- 6位 避妊をしなかったため、妊娠していないか不安 **31.0%**
- 7位 十分に興奮できるかどうか **13.4%**
- 8位 その他 **1.1%**

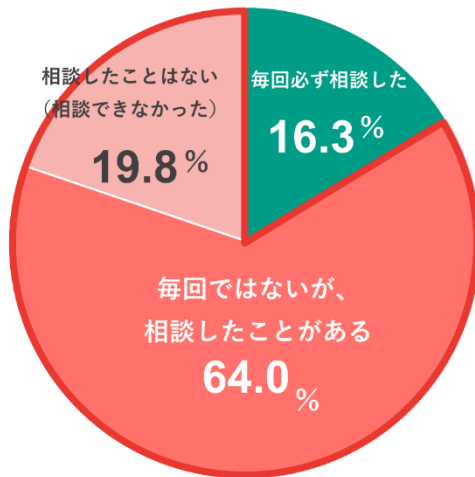
CLINIC FOR × 万力モト株式会社

●8割以上(83.8%)の女性が「パートナーに不安や心配を相談できなかったことがある」

性交時に感じた不安や心配をパートナーに相談したかどうかについて聞いたところ、「毎回必ず相談した」女性は16.3%と、8割以上の女性が「パートナーに相談できなかった経験がある」という結果になりました。「相談したことはない(相談できなかった)」と回答した女性も2割弱(19.8%)おり、相談せずに悩みを抱えている女性も一定数いることがうかがえます。

Q. 不安や心配をパートナーに相談したことはありますか？

n=374/SA



性交時の不安・心配を
相談できなかった経験がある人

83.8%

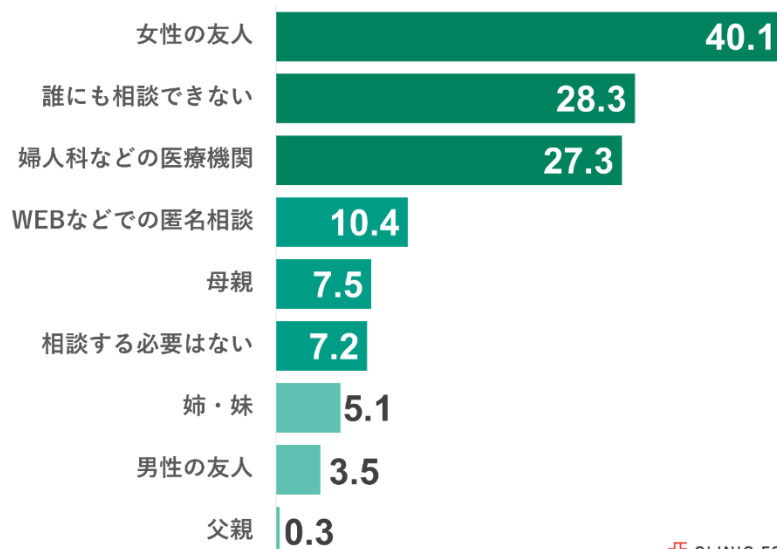
「毎回ではないが、相談したことがある」は「毎回ではないが、だいたい相談した」「たまに相談した」「人によっては相談したことがある」の合計

CLINIC FOR × 万力モト株式会社

さらにパートナー以外で相談できる相手がいるかどうかを聞いたところ、「女性の友人(40.1%)」「婦人科などの医療機関(27.3%)」に相談している一方で、「誰にも相談できない」と回答した人も3割弱(28.3%)という結果となりました。

Q. 不安や心配を感じたことを、パートナー以外で相談する相手は誰ですか？

n=374/MA (%)



CLINIC FOR × 万力モト株式会社

2) 性交時に感じる「性交痛」について

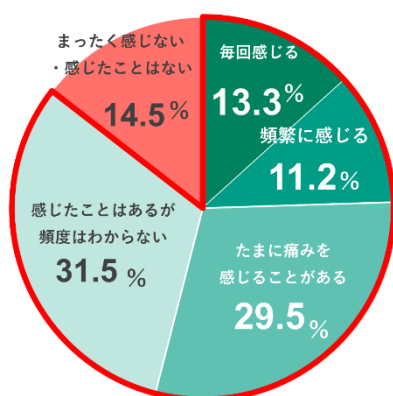
今回クリニックフォアとオカモトは、性交時における不安・心配の3位に挙げた「性交痛」に注目し、さらに詳しく調査を行いました。

●性交経験のある女性の約9割(85.5%)が「性交痛を感じたことがある」と回答

性交痛を感じた経験がある女性は約9割(85.5%)に上っており、全体の2割以上が「毎回感じる(13.3%)」「頻繁に感じる(11.2%)」と回答しています。

Q. 性交痛を感じたことはありますか？

n=482/SA



性交痛を感じたことがある人

85.5%

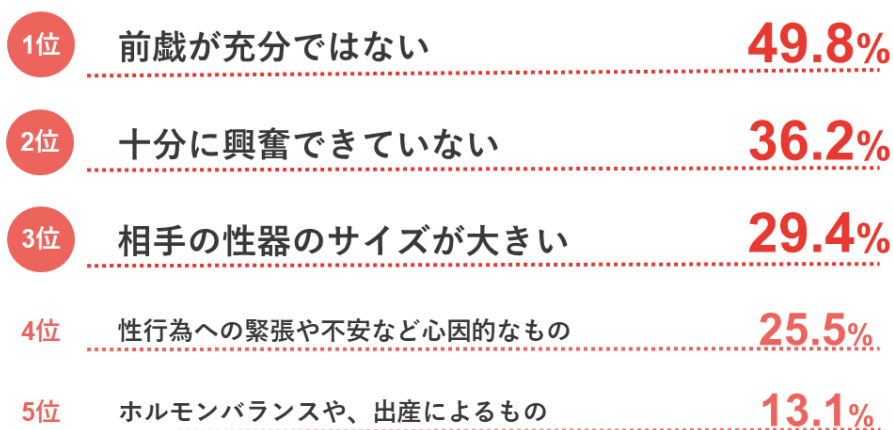
「頻繁に感じる」：2~3回に1回程度
「たまに痛みを感じる」：4~10回に1回程度

CLINIC FOR × オカモト株式会社

さらに性交痛を感じる原因としては約半数が「前戯が充分ではない(49.8%)」と回答、次いで「十分に興奮できていない(36.2%)」も4割弱と、性的な興奮が高まらないことによる潤い不足によって性交痛が引き起こされていると感じている女性が多い結果となりました。

Q. 性交痛を感じる時、原因はなんだと思いますか？

n=412/MA
上位5つを掲載



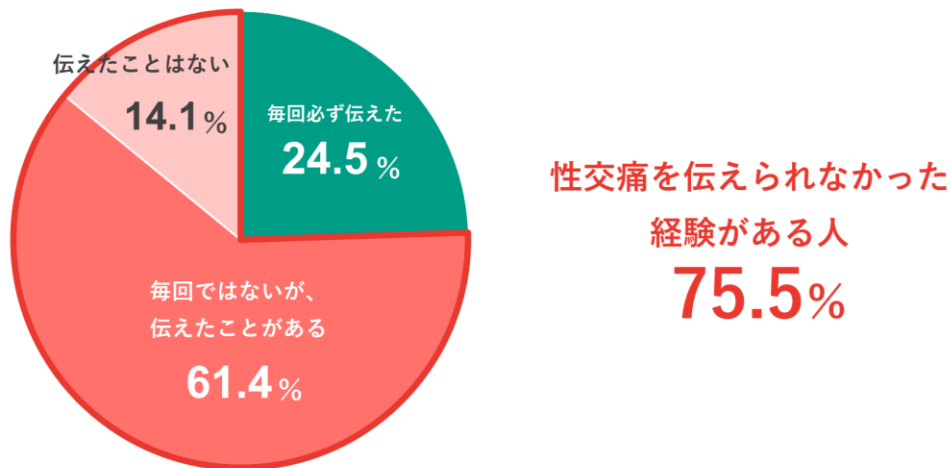
CLINIC FOR × オカモト株式会社

●性交痛を伝えられなかった経験がある女性は約 8 割（75.5%）。理由は「雰囲気を壊したくないから（53%）」「相手を傷つけてしまいそうだから（39%）」

性交痛を感じたとき、それをパートナーに毎回必ず伝えた女性は約 2 割(24.5%)にとどまり、約 8 割(75.5%)の女性が「伝えられなかった経験がある」と回答しています。

Q. 性交痛を感じたことをパートナーに伝えたことはありますか？

n=412/SA



「毎回ではないが、伝えたことがある」は「毎回ではないが、だいたい伝えた」「たまに伝えることがあった」「人によっては伝えたことがある」の合計

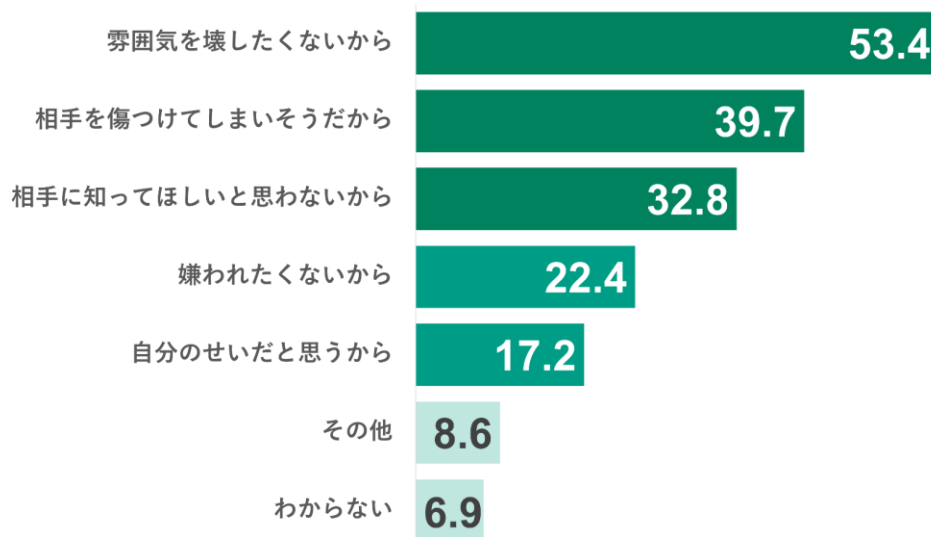
CLINIC FOR × 万力モト株式会社

さらに、「伝えたことはない」と回答した 58 名に理由を聞いたところ、「雰囲気を壊したくないから（53.4%）」「相手を傷つけてしまいそうだから（39.7%）」といった回答が挙がりました。また、そもそも「相手に知ってほしいと思わない」という回答も 3 割（32.8%）と上位に挙がっています。

Q. 性交痛を感じたことを、伝えなかった理由を教えてください。

n=58/MA

(%)



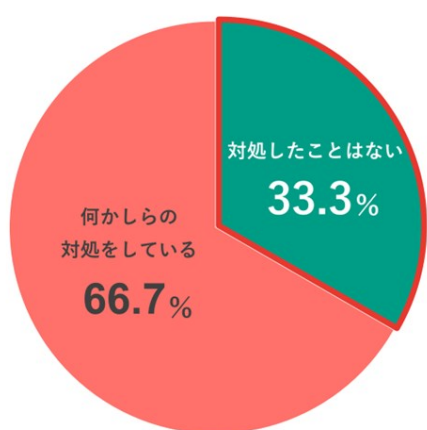
CLINIC FOR × 万力モト株式会社

●性交痛に対して「対処したことはない」と回答した人が3割以上（33.3%）。対処をしない理由として「自分が我慢すればよいものだから（39.4%）」がトップに挙がる結果に。

性交痛を感じたことがある412名に、性交痛に対して対処したかどうかを聞いたところ、「対処したことはない」人は33.3%に上り、その理由として「自分が我慢をすればよいものだから（39.4%）」がトップとなりました。

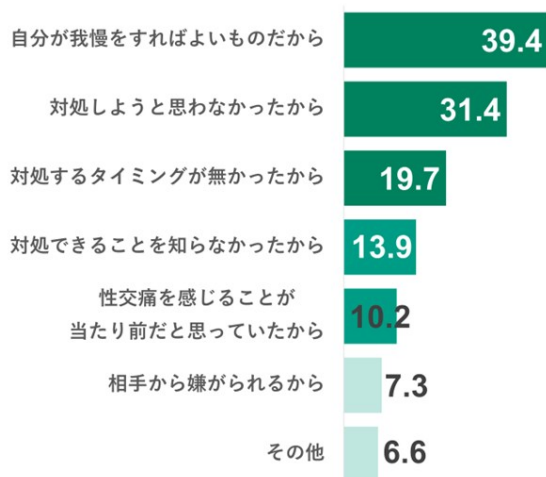
Q. 性交痛に対して、何か対処していますか？

n=412



対処しない理由

n=137/MA (%)

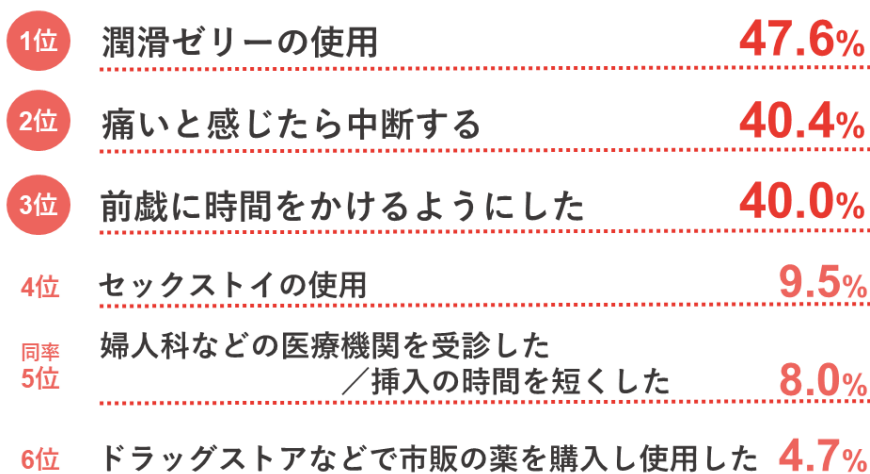


CLINIC FOR × 万力モト株式会社

また、性交痛に対処している人にその方法を聞いてみると、約半数（47.6%）が膣内の潤滑を補う役割を持つ「潤滑ゼリー」を使用しています。

性交痛への対処法

n=275/MA



CLINIC FOR × 万力モト株式会社

【産婦人科医：村田佳菜子先生のコメント】



日本産科婦人科学会認定 産婦人科専門医／日本性科学会所属／女性性機能外来担当医師
村田佳菜子先生

今回の調査では7割以上の女性が「性交時に不安や心配を感じたことがある」と回答していました。避妊や痛み、感染症などの性行為自体に対する不安、においや見た目などの自分自身に対する不安などその中身はさまざまですが、ひとりで悩みや不安を抱え込んだり、我慢し続けたりすると、心因的なストレスになり、ひいては性交自体が億劫になってしまったり、興奮できなくなってしまうこともあります。また、避妊については、まずはご自分が正しい知識を持ち、万が一失敗した可能性があり不安が残る場合にはアフターピルの服用も考えましょう。いずれにしろ、パートナーと話し、いまの状態や正しい知識を共有することで不安や悩みを解消できることもあります。勇気を出してコミュニケーションを取るようにしましょう。

そして、今回85%の女性が「性交痛を感じたことがある」という結果が明らかになりました。実際に私が診療を行う女性性機能外来にも、幅広い世代の方が性交痛で受診されます。調査結果には「性交痛は自分が我慢すればよい」と考えている方も多数いましたが、性交痛には婦人科疾患や感染症が隠れているケースもありますので、痛みが強く長く続く場合は、一度は医療機関への受診をおすすめします。病気や感染症でない場合は、潤滑液などが十分に出ない等の理由であれば、潤滑ゼリーなどのアイテムを利用するのも解決策のひとつです。痛みを我慢し繰り返すと悪化する場合があります、ワギニズムス（膣痙攣）をきたすこともあります。また、痛みはパートナーの理解や気遣いにより和らぐこともあります。パートナーに伝えづらいこともあると思いますが、異性の体や心はお互いによく分からないことも多いので、双方歩み寄れるようにきちんと口に出して伝えましょう。

悩みを抱え込む「前」に、性交の「前」に ふたりにやさしい『before 潤滑ゼリー』



「ふたりにやさしい」がコンセプトの本商品は、デリケートな悩みや不安をひとりで抱え込むのではなく、ふたりで共有することでもっと心地よい関係になれるようにという想いが込められています。

ワンタッチキャップですぐに使えて、水溶性で洗い流しも簡単なので、はじめての方にも使いやすい潤滑ゼリーです。

香料フリー/着色料フリー/鉱物油フリー/アルコールフリー

before 潤滑ゼリー 55g ¥1,080 (税込)

■クリニックフォアについて

クリニックフォアは、安心と丁寧を大切に、プライマリ・ケアを実践するクリニックです。対面で「ピル診療」や子宮頸がんなど複数のがんの原因と考えられている HPV 感染を防ぐ「HPV ワクチン接種」を提供するほか、オンラインでも、月経や PMS の悩みにアプローチする「低用量ピル処方」、HPV の検査が手軽に行える「オンライン HPV 検査キット」を提供しています。「性感染症治療」「アフターピル処方」はオンライン診療も行っており、人の目が気になる時や、対面診療の医療機関が受診できない時にも、診察からお薬配送まで安心してご利用いただけます。

クリニックフォアの「オンライン診療」の特徴

- ・初診からオンラインでの受診が可能
- ・自宅など好きな場所から受診でき、誰の目も気にせず受診が可能
- ・お薬の配送の際もシンプルな梱包により、家族に知られたくない方もご利用可能
- ・お薬の配送は、最短翌日到着（※診療・決済時間、配送地域によって異なります）

<クリニックフォアサイト> <https://www.clinicfor.life/>

- ・クリニックフォアのオンライン HPV 検査はこちら：<https://www.clinicfor.life/online-test/hpv/>
- ・クリニックフォアのオンライン性感染症治療はこちら：
<https://www.clinicfor.life/telemedicine/std-treatment/>
- ・クリニックフォアのオンラインアフターピル処方はこちら：
<https://www.clinicfor.life/telemedicine/morningafterpill>

《本件に関するお問い合わせ》	
【本件について】 オカモト株式会社 総務部 総務課 広報担当 TEL : 03-3817-4282 FAX : 03-3817-4118 pr-okamoto@tmx.okamoto-inc.co.jp	【商品について】 オカモト株式会社 医療品部医療品課 TEL : 03-3817-4231 FAX : 03-3814-1684